



1月号をお届けします。新年を迎え、新しい年が皆様にとりまして実り多い年であることをお祈り申し上げます。今年は、辛丑（かのとうし）で干支の2番目になります。前回の辛丑は1961年（昭和36年）となり、この年の出来事を調べてみますと、相撲で大関の柏戸と大鵬が同時に横綱に昇進し、柏鵬時代の幕開けとなりました。歌では、坂本九さんの「上を向いて歩こう」が大ヒットしています。海外では、アメリカの第35代大統領にジョン・F・ケネディが43歳という最年少で就任しました。また、ソ連のガガーリン飛行士が人類初めての宇宙船飛行に成功し、地球を一周しました。今年はどうな年になるでしょうか。

11月中旬から始まった新型コロナウイルス感染拡大の第3波は、12月中旬の時点でも収まっておらず、重症患者の増加で医療体制のひっ迫が懸念されています。12月8日に発表された10月分の家計調査報告によりますと、10月の消費支出は前年同月比1.9%の増加となっており、9月の10.2%減少に比べて若干持ち直しています。外食代は前年同月比0.7%の増加（9月は21.3%の減少）となり、久しぶりで前年並みとなりました。しかし、飲酒代は前年同月比36.3%の減少（9月は54.6%の減少）と依然として厳しい状況が続いています。コロナ第3波により首都圏と大阪などの自治体は飲酒を伴う飲食店に時間短縮営業を呼びかけており、GoToトラベルキャンペーンも年末年始の一時停止が決定されました。今年はおもりの年末・年始となりそうです。

コロナの影響はいろいろなところに現れていますが、風邪やインフルエンザの患者が減っていることもその例のようです。市販の総合感冒薬の売り上げは例年の6割程度まで落ちているとのことで、病院へ行く人も少なくなっていますので、風邪にかかる人の総数が減っているのでしょうか。インフルエンザ患者数も例年より大幅に少ない状態が続いています。厚生労働省によりますと、11月29日までの1週間に全国の医療機関から報告があったインフルエンザの発生件数は46件でした。昨年は、27,393件ということですのでまさに激減といえる状態です。新型コロナとインフルエンザが同時流行することが危惧されていましたが、外出時のマスクや手洗いの習慣が根付いたことが、風邪やインフルエンザの予防にもなっているようです。

もう一つコロナの影響ではないかと言われているのが、自動車教習所が混んでいるという現象です。東京などの都会では自動車は必要なく、運転免許を持たない若者も増えていたのですが、コロナ禍で事情が変わったようです。人との接触を避けながら移動できる手段として、自動車が見直されているのかもしれない。はやりのソロキャンプに行くにも自動車があった方が便利でしょう。国内の新車販売数も10、11月は前年同月を上回っているとのことです。今後の動向に興味もたれます。

さて、醸造協会は、重要文化財である旧醸造試験所第一工場（赤煉瓦酒造工場）の管理を行っており、予約が必要ですがグループでの有料の見学を受け付けています。例年11月の文化財ウィークでは予約なしで無料公開していましたが、今年はコロナ禍で中止となってしまいました。文化財を管理する文化庁では訪日外国人旅行者の誘致のために令和2年度に文化財多言語解説整備事業を行っており、その一環として、日本酒蔵ツーリズム推進協議会が赤煉瓦酒造工場を英語で紹介する映像を制作してインターネットで公開しています。普段見ることのできない内部の映像を見ることができるので、興味のある方はご覧ください。アドレスは以下のとおりです。

<https://www.nihon-kankou.or.jp/sakagura/mind-of-sakagura/nrib.html>

醸造協会に関する動きでは、昨年11月26日に臨時の評議員会・理事会が開催され、令和3年度の事業計画及び予算が審議され承認されました。また、岡崎直人代表理事・会長が退任され、木崎康造副会長が新しい会長として選任されました。副会長につきましては、常務理事の下飯が兼務することとなりました。今後どうぞよろしく願いいたします。